



幼児教育における

ICTの活用

Information and
Communication
Technology



主体的・対話的で
深い学びを実現し、
小学校以降の生活や
学習の基盤を育成する

01 子供による動画作成
～物語づくり～

02 子供による動画作成
～年下の園児に遊具の使い方を伝える～

03 タブレットを活用してみよう

01 折り紙の折り方検索
強い紙相撲づくりに挑戦

02 生き物の観察
カマキリの卵はどこから出てくる？

01 子供による動画作成

物語づくり



タブレットを使って物語を作成している様子

折り紙や色画用紙を使って即興で物語を演じることを楽しんでいた子供達。この経験を活かし、ICT機器やアプリケーションの使い方を理解しながら物語を作ります。考えたことを体で表現し、そのポーズを写真に撮ります。その写真を使って、友達と試行錯誤しながらタブレットで物語を作成しました。友達の異なる考えにも触れながら、自分達だけの物語を作りあげた達成感や表現する喜びを子供同士が共有し、自信へとつながります。

・活動の中で見られる・

幼児期の
終わりまでに
育てほしい姿

🌱 思考力の芽生え
🌱 豊かな感性と表現
🌱 協同性 など

・具体例・

- 線の太さや色、種類を簡単に選び使用できるため、どうしたら自分達の思い（表現したいこと）を実現できるのか試行錯誤する。
- 動画や写真を撮り、それらを使いながら自分達だけの物語を作ることで、創造性・発想力が豊かになる。
- 声の録音、写真の操作を楽しみながら話し合ううちに、子供同士が刺激し合ってイメージが膨らんでくる。
- 声の入れ方、画面の操作の仕方を工夫する事で、物語が発展していく。
- 絵を描く子供、色付けする子供と役割分担している。アニメーションの流れをしっかりと作る事で、さらに遊びが広がる。

02 子供による動画作成

年下の園児に遊具の使い方を伝える



動画上映会の様子



動画の画像

幼稚園で遊ぶ中で遊具の安全な使い方を学んできた年長児達。年長児自身の実体験を活かして、年下の園児向けに遊具の安全な使い方や大切に使うことを伝える動画を作成しました。年長児達が遊具を使っている様子を撮影し、その画像に音声を入れ、動画にしていきます。動画を見た年下の園児も年長の子供達の声に耳を傾け、ルールを知り守ることができるようになります。

• 活動の中で見られる •

幼児期の
終わりまでに
育てほしい姿

道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり
言葉による伝え合い
など

・ 具体例 ・

- 画像を動かしたり、危ない遊びには両手で『×』を作った写真を入れたりなど、年下の園児に安全に楽しく遊具を使ってほしいと願って工夫する。
- 撮り直しや画像の切り貼りがしやすいため、作成した動画を繰り返し視聴し、年下の園児に分かりやすい動画となるように話し合う。
- ICTを用いて様々なものを撮影し、データ化することにより、自分達が表現したい素材として活用できる。
- 遊具の使い方の動画作成を通して、ルールについて考えたり、公共のものを大切に利用することを考えたりする。

直接体験を基盤とした ICT の活用により、

子供達の体験が豊かになります

03 タブレットを活用してみよう

01 折り紙の折り方検索 強い紙相撲づくりに挑戦

園で折り紙を折っている子供達。折り紙の本に載っていない強い紙相撲に挑戦。どんな色が強そうに見えるか、どの折り方で強い紙相撲が作れるか、イメージに合った様々な色や形をタブレットで調べています。遊びに必要な情報を取り入れ、活用することができました。

・活動の中で見られる・

幼児期の
終わりまでに
育ってほしい姿

数量や図形、標識や文字
などへの関心・感覚
社会生活との関わり
豊かな感性と表現 など



タブレットで折り方を見ている子供

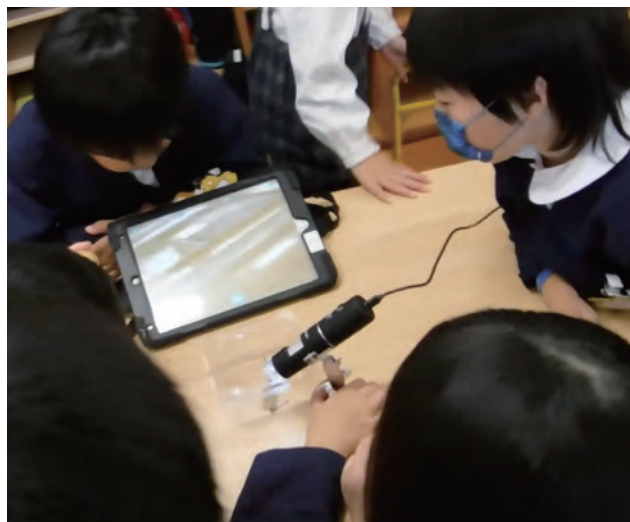
02 生き物の観察 カマキリの卵はどこからでてくる？

クラスで飼育していたカマキリが、卵を産み死んだ。カマキリのお腹の膨らみがなくなっている事に気付いた子供達は、タブレットに顕微鏡をつなぎ観察した。「お尻の穴から卵を産んだのではないか」等、意見を伝え合い、拡大する場所を相談する姿が見られた。その後、カマキリは子供達が埋葬した。

・活動の中で見られる・

幼児期の
終わりまでに
育ってほしい姿

自然との関わり・生命尊重
思考力の芽生え
言葉による伝え合い など



顕微鏡につないだタブレットを見ている子供達

本リーフレットは、文部科学省の令和3年度「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究」の委託業務として、学校法人七松学園が研究成果の一部をまとめたものであり、複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。

調査研究実行委員会代表：学校法人七松学園 理事長 亀山秀郎
本リーフレット作成グループ：認定こども園七松幼稚園
志方智恵子 佐竹智恵子 石本絵美 大森祥子
本研究の問い合わせ先：06-6418-6732